仕事中に? えっ地震?! その時、あなたは・・・

一利是



ちょっと待って!!



基本原則

「むやみに移動を開始しない」

協力/令和元年度·船橋市防災女性モニター※ (推薦団体·氏名 敬称略)

災害救援ボランティア推進委員会

平山 優子 / 一般公募

伊藤 正美

公益社団法人千葉県看護協会

滝口 惠子 / 船橋市 PTA 連合会

須藤 成美

船橋市赤十字奉仕団

花島 京子 / 船橋市消防団

中島 みゆき

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会

杉澤 杏菜 / 船橋市職員(保健師)

八木 毬衣

※船橋市では、「女性の視点」を市の防災計画や政策等に活かしていくことを目的に、市が委嘱した「防災女性モニター」を設置しています。様々な分野で活動するメンバーで構成され、防災・減災について幅広く検討が行われています。

船橋市 市長公室 危機管理課

令和2年3月発行

東日本大震災、あの時は帰れた!

どうして同じように帰っちゃいけないの?





【想定されている首都直下地震が発生したら】

- 船橋市の被害想定~千葉県北西部直下地震(M7.3)の場合~
- ●最大震度6強●ライフラインの停止●公共交通機関の運行停止●液状化●土砂災害
- ●死者 790 人●負傷者 4,420 人●全壊·焼失建物 17,310 棟●半壊建物 20,770 棟
- ●帰宅困難者 千葉県内で約 74 万人、県外で帰宅困難者となる千葉県民は約 74 万人

出典) 平成 29・30 年度船橋市防災アセスメント調査(地震被害想定)報告書概要版、平成 26・27 年度千葉県地震被害想定調査報告書

【あなたの行動フロー(例) / 地震発生~帰宅まで】

フロー図は、津波や延焼火災からの避難の必要性がない場合の標準的な例を示したものです。

- □自身の安全確保
- □家族の安否確認、職場に安否報告
- □職場内待機
 - ·初期消火、避難誘導
 - ・負傷者の救出、手当、搬送
 - ・被害状況、情報の収集
- □災害対応業務
 - ・被害状況、情報の集約と提供 など
- □職場にとどまる準備(被害状況、時間帯に応じて)
 - ・備蓄物資の設営、配布 など
- □徒歩帰宅の開始
 - ・ 今後の出勤体制の確認
 - ・帰宅支援情報の収集 など
- ※混乱収拾時とは 目安として発災後3時間~72時間

落ち着いて状況を把握し

混乱が収拾するまで、職場にとどまりましょう!

約3時間(救命・救助優先)

~約6時間

混乱収拾時 ※ 以降

【働く女性の備え】

安心して職場にとどまるためにできること・個人の準備

①家族と家を守る準備

家族を迎えに行かなきゃ! 家族の安否・自宅の被害が心配・・・

- □すぐに帰宅しない場合があることを家族で確認しておく
- □家屋の耐震、家の中の安全対策
- □家庭内の備蓄。最低3日分、目標1週間分
- □家族で災害時のルールを話し合う
 - •安否確認方法(複数)
 - ・連絡が取れない時の「集合場所・集合時間」
 - ・家族を預けている学校や施設等の災害時の行動を、実家等にも伝えておく
- □困ったときに助け合える仲間をつくっておく



衛生

安全

ストレス

②あなた自身を守る準備・職場にとどまる準備

□職場内の安全対策

□職場の行動ルール・備蓄等を確認(足りない物は個人で準備)

□自分用お泊まりセットを職場に準備(ライフラインの停止、安全・衛生を考えて)

【例】簡易食料(そのまま食べられるもの)、水、携帯トイレ、医薬品、衛生用品類(トイレットペーパー、ウエットティッシュ、マスク、生理用品、おりものシート、ハブラシ、コンタクト用品、化粧落とし、基礎化粧品)、モバイルバッテリー、ライト、防犯ベル、電池、寒暖対応用品、心の支え(家族の写真など)、ほか

③安全に、自力で、徒歩帰宅する準備

□船橋市の情報を入手

□徒歩帰宅のルート、途中の休憩場所を確認

□帰宅距離・所要時間を確認(移動は明るくなってから)

□実際に歩いてみる(橋や道路が閉鎖される場合もある)

□徒歩帰宅用グッズを職場に準備

ふなばし情報メール

登録はこちらから▼

【例】歩きやすい靴、厚手の靴下、ズボン、紙地図、ヘルメット、マスク、ライト、防犯ベル、携帯トイレ、リュック(両手が使える)、簡易食料、水、携帯ラジオ、電池、モバイルバッテリー、寒暖対応・雨具用品、現金(小銭や千円札)、心の支え、ほか

【事業所の協力体制】

一斉帰宅の抑制・職場内待機の取組みについて

東日本大震災では、膨大な数の帰宅困難者が発生しました。一人でも多くの従業員を 安全に家族のもとに帰宅させるには、官民の連携・協働した取組みが必要です。

①従業員への周知徹底

- □一斉帰宅抑制の必要性(早期帰宅の促進は、帰宅困難者の増大に直結する)
- □時差帰宅、翌日帰宅の効果
 - 発災後3時間の中で分散して帰宅すると、混雑が約2割減少
 - ・発災後6時間の中で分散して帰宅すると、混雑が約1/3減少
 - ・帰宅困難者の1/3の人が夜が明けた翌日に帰宅すると、混雑が約半分減少

(出典 千葉県 HP 帰宅困難に関する被害想定)

②体制・ルールの整備

- □雇用形態にかかわらず、すべての従業員を対象にする
- □平常時から防災担当職に女性の参画を(多様性の視点で)
- □従業員だけでなく家族との安否確認体制の確立
- □従業員が安全に帰宅するための情報の提供
- □従業員がとどまるための体制・備蓄の整備(食料、水、毛布、簡易トイレ、燃料等)
- ↑時差帰宅、または夜が明けたあとの翌日帰宅の実施ルール

【安否確認方法】

171 「あの人いない」で覚えよう!



~災害用伝言ダイヤル体験日~

- ●毎月1日、15日
- ●正月三が日(1/1~1/3)
- 防災とボランティア週間 (1/15~1/21)

●防災週間 (8/30~9/5)

【徒歩帰宅者への支援】

▽船橋市の取組み ▽千葉県等の取組み

目印は ステッカー!

帰宅困難者支援施設



災害時帰宅支援ステーション



▲コンビニエンスストア ファミリーレストラン等

▲支援施設一覧は船橋市 HP に掲載 (市と協定締結した民間会社・施設等)

~帰宅困難者支援施設・災害時帰宅支援ステーション~

災害時に混乱が収まってから徒歩帰宅する人へ、 水・トイレ・休憩場所・情報を可能な範囲で提供します。

(店舗・施設の被害状況等によっては支援を受けられない場合があります)